取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

ELYSION

サイドリフトアップシート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、ELYSION サイドリフトアップシート車に
装備された機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容についてはELYSION 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

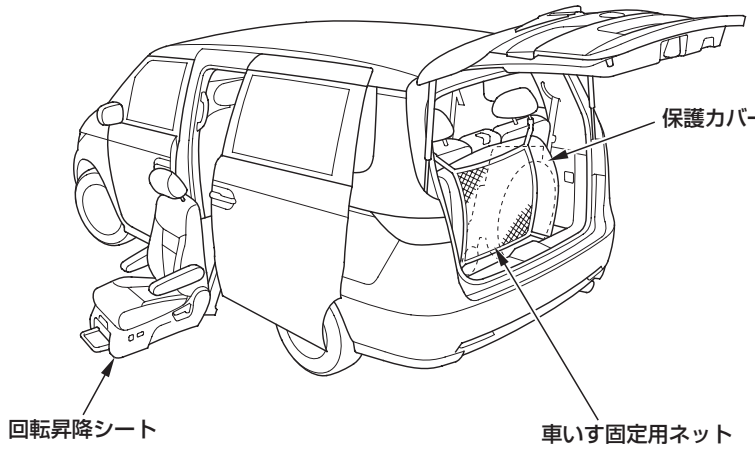
知 識
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

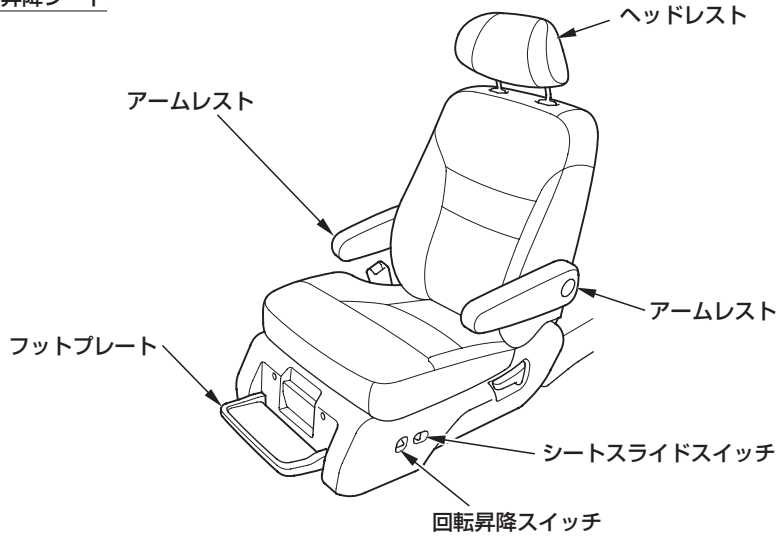
もくじ

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
安全ドライブのための必読ポイント・・・・・・・・・・・ 4
装備の使いかた
助手席側パワースライドドア・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
シートアレンジインデックス・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
セカンドシート(右側席)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
回転昇降シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
フラットシート
　(フロント・セカンド、回転昇降シート)・・・・11
フラットシート
　(セカンド・サードシート)・・・・・・・・・・・・・・・・13
カーゴスペースの作りかた・・・・・・・・・・・・・・・・・14
シートベルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
チャイルドシート固定機構付き
　シートベルト(セカンドシート右側席)・・・・・・16
ISO FIXテザータイプチャイルドシート
　固定装置(セカンドシート右側席)・・・・・・・・・・16
回転昇降シートの操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
フットプレート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
車いすの収納のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
点検整備について
点検整備方式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
日常点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
万一のとき
工具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
シートが回転、昇降できないとき・・・・・・・・・・・・32
回転昇降シートが正常に作動しないとき・・・・・・35
サービスデータ
サービスデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
収納可能な車いすのサイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・43

各部の名称



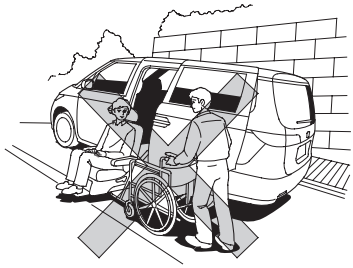
回転昇降シート



安全ドライブのための必読ポイント

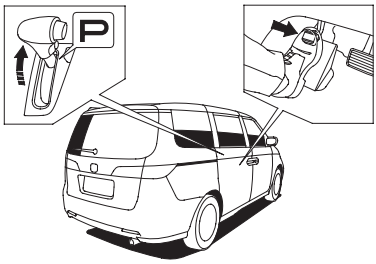
坂道での回転、昇降操作はしない。

●回転、昇降操作は必ず平坦な場所で行ってください。
坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。



回転、昇降するときは。

●セレクトレバーがPに入っていないと回転、昇降の操作ができません。パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れて操作してください。



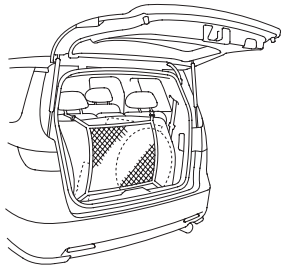
●助手席側パワースライドドアは、全開の位置にしてください。
・全開位置にしていないと回転昇降シートの下降操作ができません。
・全開位置にしていないと回転昇降シートを上昇させるときに、助手席側パワースライドドアとシート、車体の間にはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

回転、昇降操作は介護する人が行う。

- 回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。
  回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。
  ・シートを操作する前に、シートに座っている人の体がアームレストの外側に出ていないことを確認してください。

車いすは確実に固定。

- 必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ネットで固定してください。
  走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



装備の使いかた

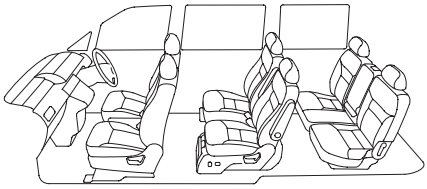
助手席側パワースライドドア

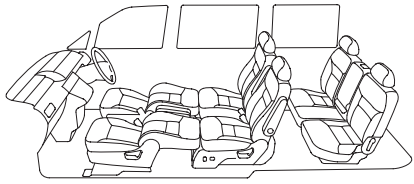
知 識

- 助手席側パワースライドドアが全開になっていないと、回転昇降スイッチを押しても回転昇降シートは作動しません。
- 回転昇降シートが走行位置（格納位置）以外の位置で助手席側パワースライドドアを閉めようとしても“ピーピーピー”とブザーが鳴り作動しません。
- 回転昇降シートが下降している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが“閉”方向に動いてしまうとシートの作動は停止します。
  - ・パワースライドドアメインスイッチが“ON”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“開”方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。
  - ・パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“開”方向へ操作して手動で開きます。

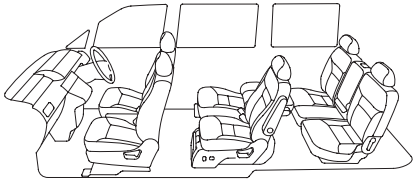
パワースライドドア操作の詳細については、ELYSION取扱説明書をご覧ください。

シートアレンジインデックス

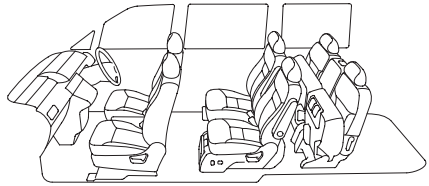




フラットシート　→11ページ



フラットシート　→13ページ



セカンドシート(右側席)

●前後位置の調節

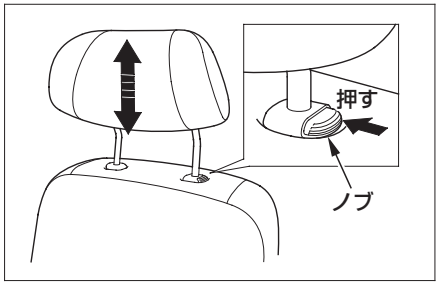
●背もたれの調節

●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト
前に倒して使用します。

⚠注意

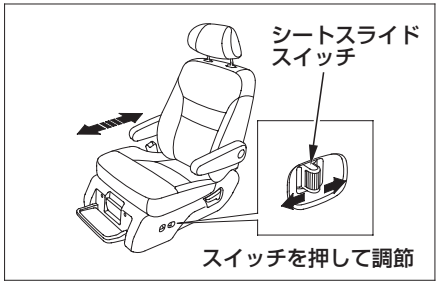
●シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

アドバイス

●アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

回転昇降シート

●前後位置の調節



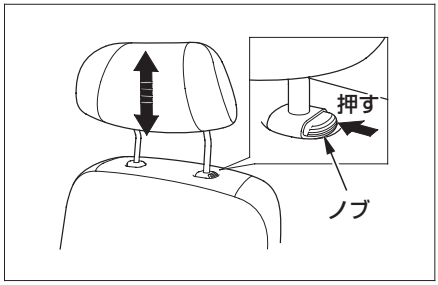
●背もたれの調節

●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

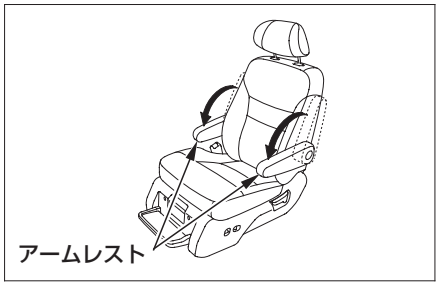


⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト

前に倒して使用します。
昇降操作中は、前に倒しておいてください。



⚠注意

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
  シートベルトは正しく着用してください。

アドバイス

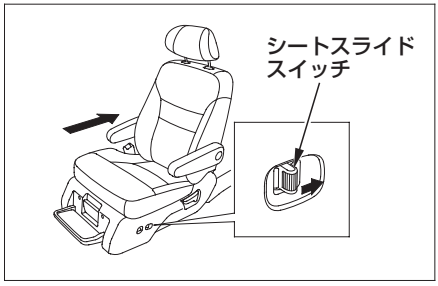
- アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

フラットシート（フロント・セカンド、回転昇降シート）

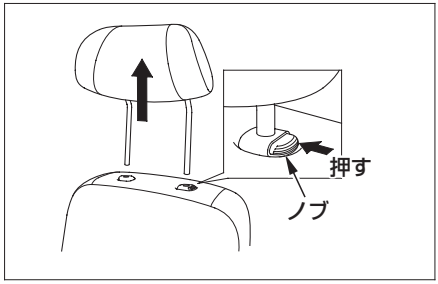
フロントシートの背もたれを倒すと、セカンドシート(右側)、回転昇降シートとフラットな状態にできます。

①セカンドシート(右側)の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを後方いっぱいに動かします。

②回転昇降シートのシートスライドスイッチを後側に押して、シートを後方いっぱいに動かします。



③ノブを押して、フロントシートのヘッドレストを外します。

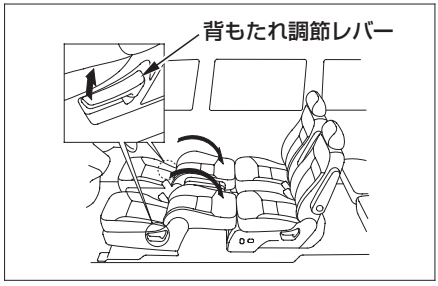


④フロントシートの前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→ELYSION取扱説明書

⑤背もたれ調節レバーを引き上げながら背もたれを後へ倒して固定します。

フロントシート　→ELYSION取扱説明書



元に戻すときは逆の手順で行います。

⚠注意

- フラットな状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。
  ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フラットな状態で、シートの上を走り回らないでください。
  また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。
  シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- アームレストは収納してください。つまずいたり、足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 背もたれが急に戻り、顔などにけがをするおそれがあります。背もたれを起こすときは、必ず背もたれに手を添えて操作してください。

知 識

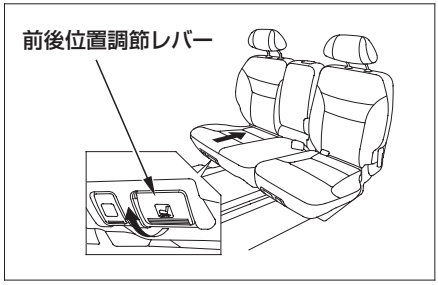
- フラットな状態にしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

フラットシート（セカンド・サードシート）

セカンドシート（右側）の背もたれを倒すと、サードシート（右側）とフラットな状態にできます。

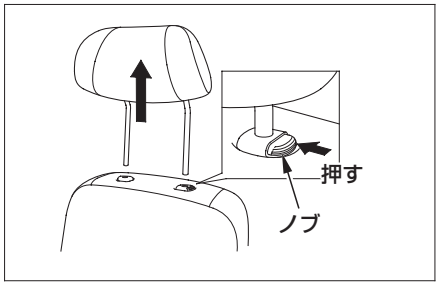
①サードシート（右側）の前後位置調節レバーを引き上げながら、シートを後方いっぱいに動かします。

サードシート　→ELYSION取扱説明書



②セカンドシート（右側）の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

③ノブを押して、セカンドシート（右側）のヘッドレストを外します。



④背もたれ調節レバーを引き上げながらセカンドシート（右側）の背もたれを後へ倒して固定します。

⑤セカンドシート（右側）の前後位置調節レバーを引き上げながら、サードシート（右側）にあたるまで、後方へ動かし固定します。

元に戻すときは逆の手順で行います。

⚠注意

- フラットな状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。
  ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フラットな状態で、シートの上を走り回らないでください。
  また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。
  シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- アームレストは収納してください。つまずいたり、足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 背もたれが急に戻り、顔などにけがをするおそれがあります。背もたれを起こすときは、必ず背もたれに手を添えて操作してください。

知 識

- フラットな状態にしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

カーゴスペースの作りかた

サードシートの座面をはね上げて前に移動すると、カーゴスペースを広くすることができます。

サードシート、カーゴスペースの作りかた →ELYSION取扱説明書

シートベルト

●シートベルトの種類

シート		シートベルトの種類
フロントシート		ELR付三点式シートベルト
セカンドシート	左	ELR付三点式シートベルト
	右	ELR・ALR付三点式シートベルト
サードシート	左右	ELR付三点式シートベルト
	中央	マニュアル二点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：
通常はELRシートベルトとして機能します。
ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト　→ELYSION取扱説明書

チャイルドシート固定機構付きシートベルト（セカンドシート右側席）

この車は、セカンドシート右側席にチャイルドシート固定機構付きシートベルトが装備されています。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト　→ELYSION取扱説明書

ISO FIXテザータイプチャイルドシート固定装置（セカンドシート右側席）

セカンドシート右側席には、ISO FIXテザータイプのチャイルドシートを固定するための専用バーとテザーアンカーが装備されています。

この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。
チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。
後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。
Honda純正品をご用意しています。
ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

●チャイルドシートを取り付けるとき

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、専用バー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みが無いことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
  確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

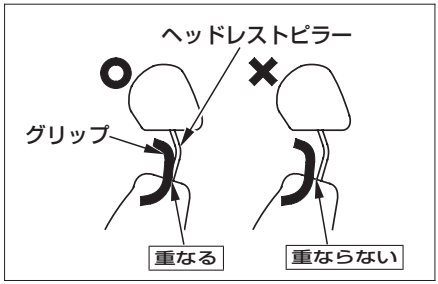
前向きに取り付けるとき

①セカンドシート(右側席)を一番後ろに下げます。

セカンドシート(右側席) →8ページ

②フロントシート(運転席)のヘッドレストピラー根元が、グリップと重なる位置よりも前になるように、背もたれの角度、シートの前後位置を調節します。

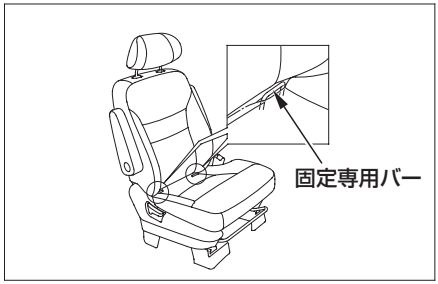
フロントシート →ELYSION取扱説明書



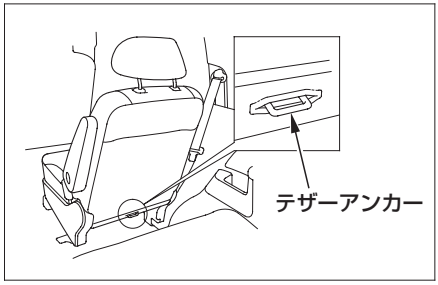
⚠注意

- お子さまを安全に乗せるためにフロントシート(運転席)の位置を調節してください。
  運転者が正しい運転姿勢を取れない場合には、固定専用バーとテザーアンカーを使用してのチャイルドシート装着はできません。

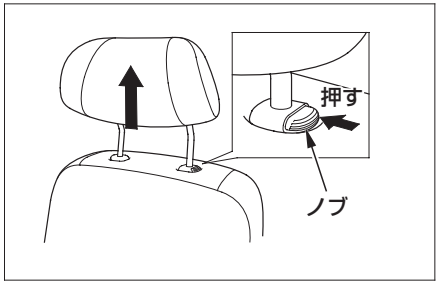
③シートクッションと背もたれのすき間にあるチャイルドシート固定専用バーの位置を確認します。



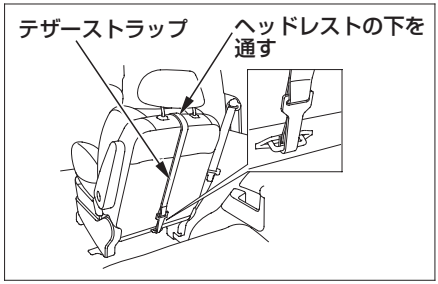
④シートクッション後部にあるテザーアンカーの位置を確認します。



⑤ノブを押しながらセカンドシート(右側席)のヘッドレストを持ち上げて最上段で固定し、テザーストラップはヘッドレストの下を通します。



⑥チャイルドシートとテザーストラップをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。



●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

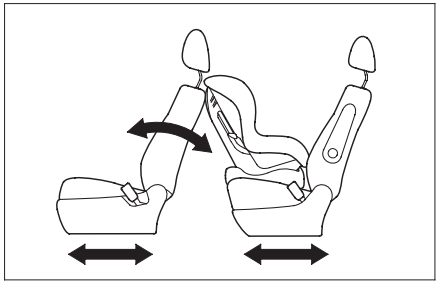
後ろ向きに取り付けるとき

①シートクッションと背もたれのすき間にあるチャイルドシート固定専用バーの位置を確認します。

②チャイルドシートをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。

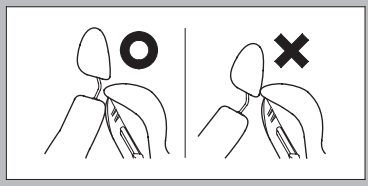
③チャイルドシートの上部がフロントシートの背もたれに接するように、シートの前後位置や、フロントシート(運転席)の背もたれの角度を調節します。

フロントシート →ELYSION取扱説明書
セカンドシート(右側席) →8ページ



⚠注意

- 運転者が正しい運転姿勢を取れない場合には、固定専用バーとテザーアンカーを使用してのチャイルドシート装着はできません。
- チャイルドシートは必ずフロントシート(運転席)の背もたれに接するようにして、ヘッドレストでは支えないでください。



●取り外すとき

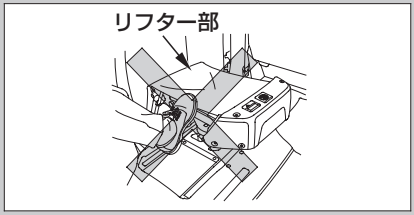
チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

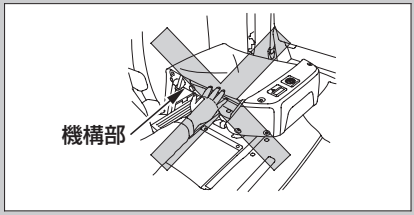
回転昇降シートの操作

セレクトレバーが🅿のとき回転、昇降操作できます。
助手席側パワースライドドアを全開にして回転、昇降操作をしてください。

⚠注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
  - ・パーキングブレーキをかけてセレクトレバーを🅿に入れてください。
  - ・シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
  - ・シートを操作する前に、シートに座っている人の体がアームレストの外側に出ていないことを確認してください。
  - ・回転、昇降操作は、介護する人が行い、手や足などをはさんだりぶつけたりしないように十分注意してください。
    また、お子さまには操作させないでください。
  - ・リフター部にのらないでください。
    また、回転昇降シート作動時は、機構部に近づかないでください。はさまれたり、まきこまれたりするおそれがあります。





  - ・助手席側パワースライドドアを全開にしてから回転、昇降操作をしてください。
    回転昇降シートを上昇させるときに、助手席側パワースライドドアとシート、車体の間にはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用することはできません。

知 識

- この回転昇降シートの最大回転、昇降能力は、100kgです。これを越えての回転、昇降操作は、破損の原因となります。
- 助手席側パワースライドドアが全開になっていないと、回転昇降スイッチを押しても回転昇降シートは下降方向には作動しません。
- 回転昇降シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。
- 回転昇降シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、助手席側パワースライドドアを自動で閉めることができません。

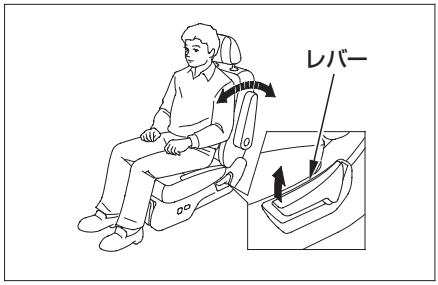
●シートの降ろしかた

①シートベルトが外してあることを確認します。

②シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。

知 識

- 背もたれが倒れすぎていると、右側のセカンドシートと干渉してシートの回転ができなくなります。



③アームレストを前に倒します。このとき座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。
④フットプレートを前に倒して、足を乗せます。

フットプレート　→25ページ

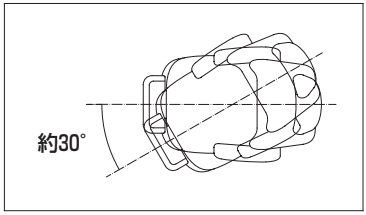
⑤回転昇降スイッチを下に押し続けると“ピーッ”とブザーが鳴り、シートが回転しながら前方へスライドし、さらに外側へスライドして下降します。
また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

知 識

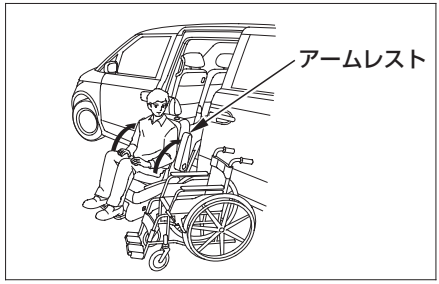
- シートを前方へスライドさせているときに回転昇降スイッチを押すと、いったん最後端までスライドしてから回転、下降を開始します。
- シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。



知 識

- 回転昇降シートが下降している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが“閉”方向に動いてしまうとシートの作動は停止します。
  - ・パワースライドドアメインスイッチが“ON”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“開”方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。
  - ・パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“開”方向へ操作して手動で開きます。

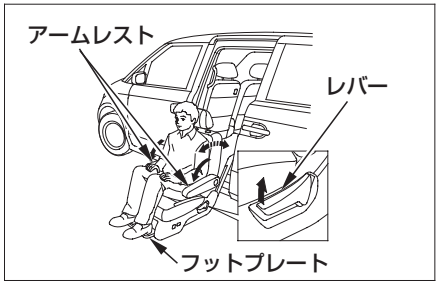
⑦アームレストを上げて、車いすなどに乗り換えます。



●シートの上げかた

①フットプレートを倒し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないように背もたれの角度を調節します。

②車いすなどから乗り換え、アームレストを倒します。このときシートに座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。



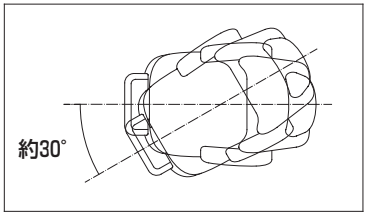
③回転昇降スイッチを上に押し続けると“ピーッ”とブザーが鳴り、シートが上昇します。
上昇が終了すると続けて車内へスライドし、回転しながら走行位置(格納位置)まで後方へスライドします。
スライドが終了して完全に停止すると“ピピッ”とブザーが鳴ります。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。
- シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- シートが回転を開始してから（約30° ）走行位置（格納位置）に戻る直前までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。



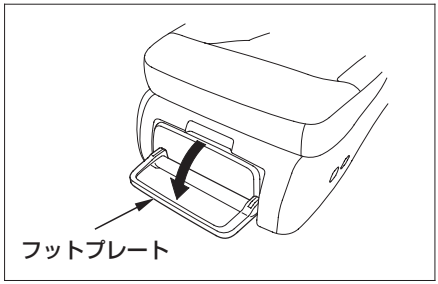
- シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。
- 故障などにより、シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

  シフトロックの解除

  →ELYSION取扱説明書

フットプレート

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、介護される人の足を乗せておいてください。
走行中は、フットプレートを必ず収納してください。
体重がかかりすぎて破損するおそれがあります。



アドバイス

- フットプレートに体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。フットプレートが破損するおそれがあります。

車いすの収納のしかた

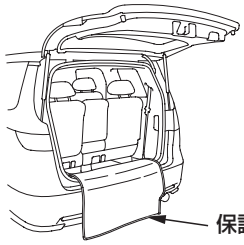
●車いすを収納するとき

①テールゲートを開けます。

②サードシートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

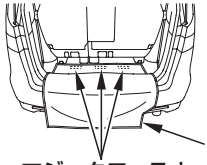
サードシート　→ELYSION取扱説明書

③保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせます。

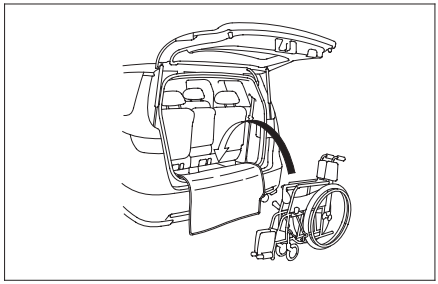


知 識

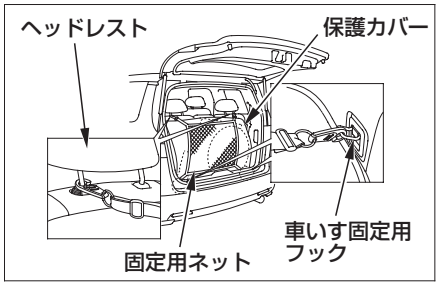
●保護カバーを取り外している場合は、マジックファスナーでフロアカーペットに固定してください。



④車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。



⑤保護カバーを車いすにあてながら、固定用ネットのフックを車いす固定用フックとヘッドレストのステーにかけて車いすを固定します。

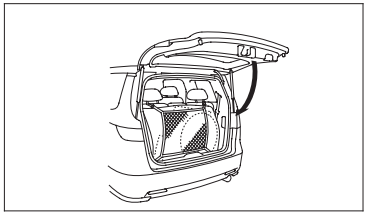


知 識

- 車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 車いすを固定した後に、サードシートをスライドさせないでください。

知 識

- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
  車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれると変形する可能性があります。



- **パワーテールゲート装備車**
  パワーテールゲートを閉めるとき、車いすにパワーテールゲートが接触しないように注意してください。
  パワーテールゲートが車いすに接触すると、はさみ込み防止機構が作動して、パワーテールゲートが反対側に動きます。
  はさみ込み防止装置
  →ELYSION取扱説明書

●車いすを車から取り出すとき

収納するときとは逆の手順で行います。

点検整備について

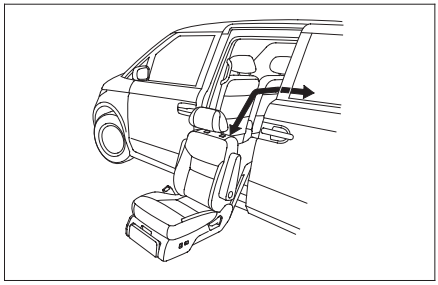
点検整備方式

点検整備項目		点検時期			交換時期(年)	備考
		日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回転昇降シート部	回転、昇降スピード、異音	○				
	各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
	ブザーの作動	○				

日常点検

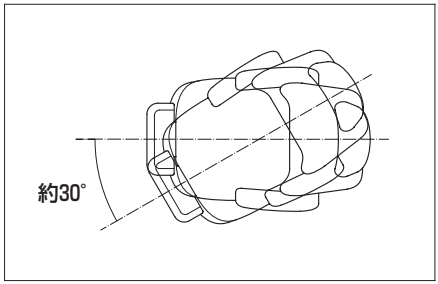
日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

●回転、昇降スピード・異音の点検
シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。



●ブザーの作動の点検
回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。

①回転昇降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに“ピーッ”とブザーが鳴ること。
②シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴りつづけること。

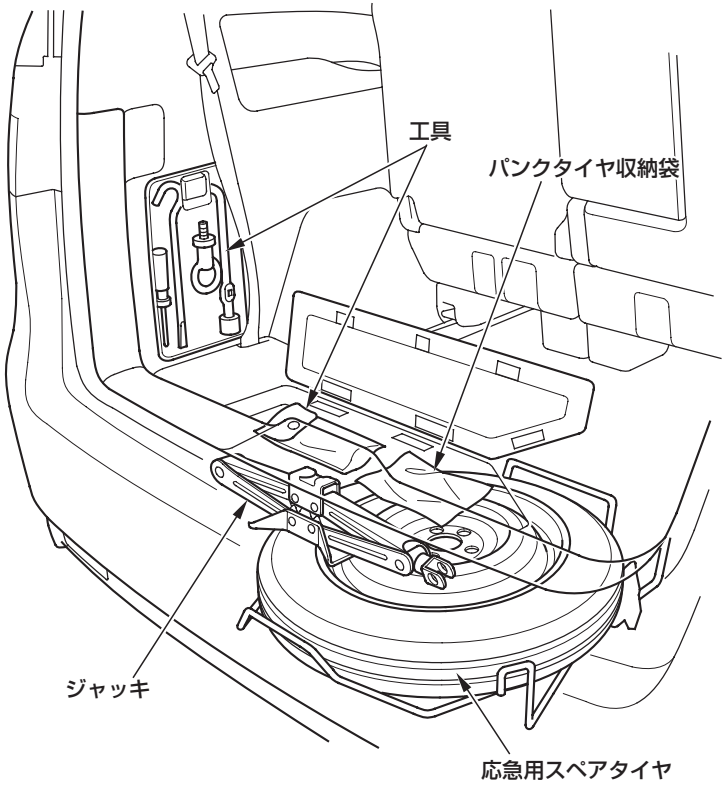


③回転昇降スイッチを上に押して、シートが走行位置(格納位置)まで戻ったときに“ピピッ”とブザーが鳴ること。

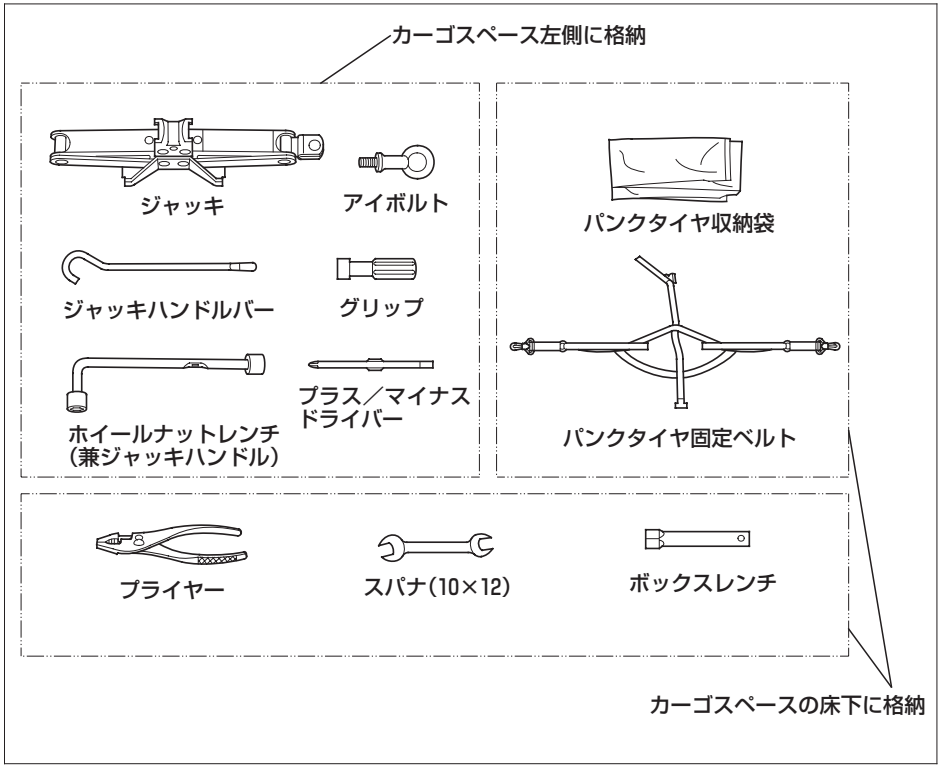
万一のとき

工具

●格納場所



●工具の種類



知 識

- 工具の種類、ジャッキの使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

シートが回転、昇降できないとき

シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れが考えられます。

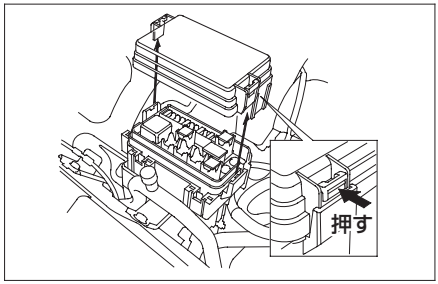
①ヒューズが切れていないかを点検します。
②必要に応じて、ヒューズを交換します。

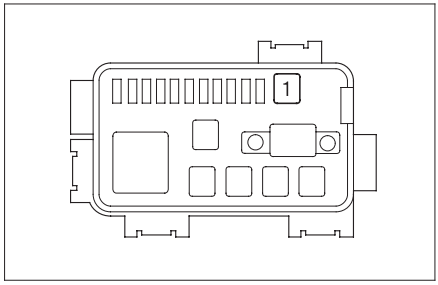
●ヒューズの点検、交換

エンジンルーム内のヒューズボックスの位置

VG

ヒューズボックスはバッテリーの横にあります。



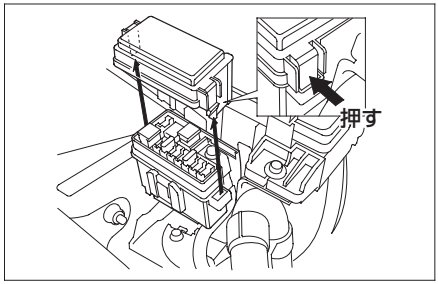


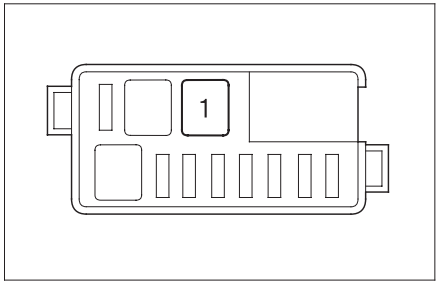
・ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	RR L	パワースライドドア（回転昇降シート）	40A

G

ヒューズボックスはバッテリーの後ろにあります。





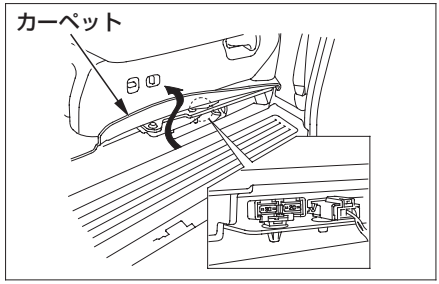
・ヒューズの装備と容量

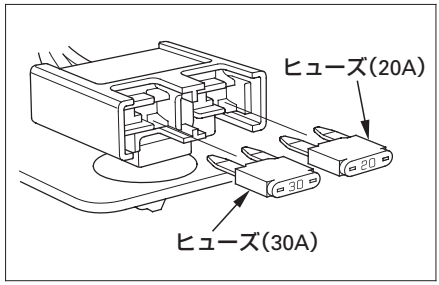
	表示	装備	容量
1	RR L	パワースライドドア（回転昇降シート）	40A

室内の回転昇降シートのヒューズの位置

ヒューズは回転昇降シート左側のカーペット裏にあります。

①回転昇降シート左側のカーペットをめくります。



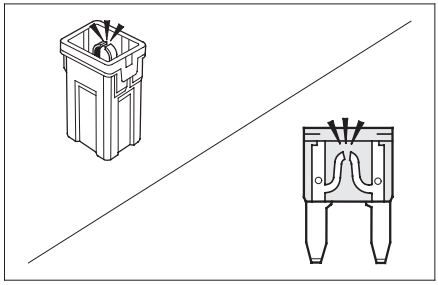


ヒューズ規定容量：20A、30A

②ヒューズが切れていないかを点検します。

③必要に応じて、ヒューズを交換します。

ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

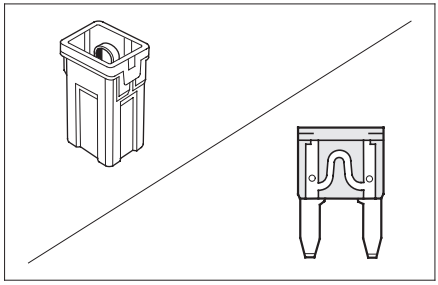
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。

知 識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



ヒューズが切れていないのにシートが回転、昇降できないときは、装置の故障が考えられます。Honda販売店へご連絡ください。

→37ページ

回転昇降シートが正常に作動しないとき

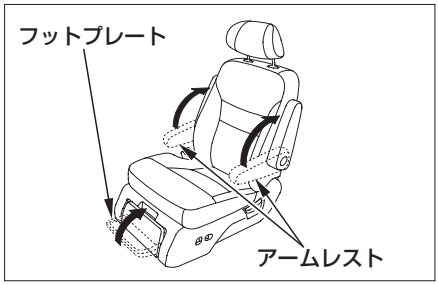
●スイッチを押すとシートが動くとき

知 識

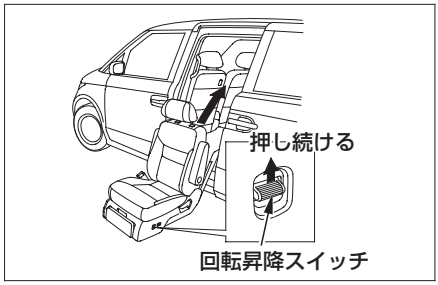
- バッテリー交換は、シートを走行位置(格納位置)にした状態で行ってください。
- バッテリー交換は、助手席側パワースライドドアを閉めた状態で行ってください。
  開けた状態で行うと、回転昇降シートが作動しなくなります。その場合は、いったん助手席側パワースライドドアを閉めてから、再度全開にすると回転昇降シートの機能が復帰します。

シートが走行位置(格納位置)以外で、バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、通常の昇降操作ができなくなりますので、以下の手順で復帰操作を行ってください。
また、バッテリーやヒューズを交換していないのに通常の昇降操作ができなくなったときは、故障の可能性がありますので以下の手順で格納操作を行い、なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

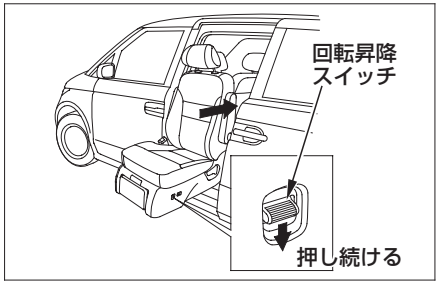
①アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



②回転昇降スイッチを上に押し続けて、シートが止まるまで上昇させます。



③回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込みます。



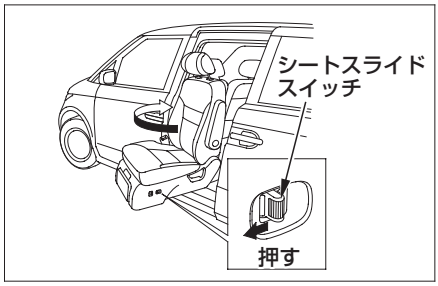
④シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

知 識

- シートが走行位置(格納位置)に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

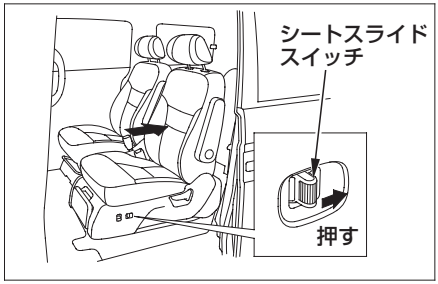
回転の操作

シートスライドスイッチを前側に押してシートを車内側へ回転させます。



スライドの操作

シートスライドスイッチを後側に押してシートを後方へスライドさせます。



知 識

- 復帰操作を行った後は、回転昇降スイッチを操作して、シートが正常に作動することを確認してください。

⚠注意

- 復帰(格納)操作を行うときは、回転昇降シートに座らないでください。
  シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。
- バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまで回転昇降シートを使用しないでください。また、格納操作を行ったあとはHonda販売店で点検を受けるまで回転昇降シートを使用しないでください。
  そのままで使用すると、シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。

●スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡ができない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。

⚠注意

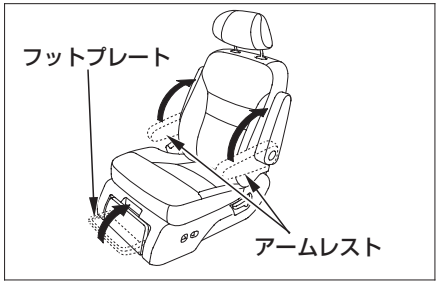
- 手動格納の作業を行うときはシートの可動部分に手をはさまないように十分注意してください。

シートが昇降の途中で動かなくなったとき

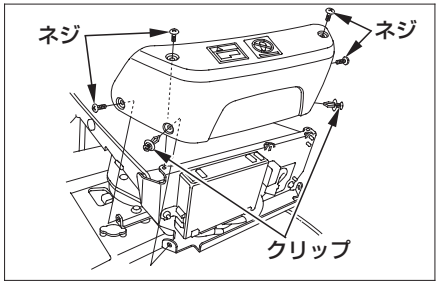
①エンジンルーム内のヒューズを外します。

ヒューズの位置　→32ページ

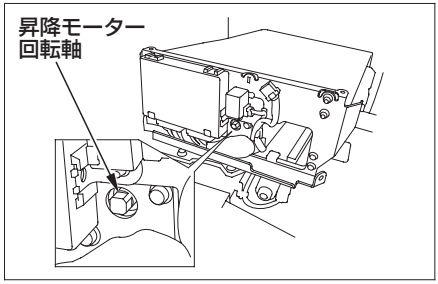
②アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



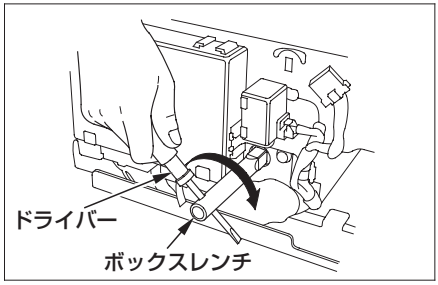
③プラスドライバーでネジ(４本)とクリップ(２個)を外して、回転昇降シートの後部カバーを外します。



④回転昇降シート後部にある昇降モーター回転軸の位置を確認します。



⑤ボックスレンチにドライバーを差し込み、昇降モーター回転軸が回らなくなるまで矢印の方向へ回します。



⚠注意

- ボックスレンチで昇降モーター回転軸を回すときは、レンチが回転軸から外れたり、手をはさまないように十分注意してください。

知 識

- ボックスレンチはゆっくり回してください。

⑥エンジンルーム内のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→32ページ

⑦シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

回転とスライドの操作　→36ページ

知 識

- シートが走行位置(格納位置)に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

⑧なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください

⚠注意

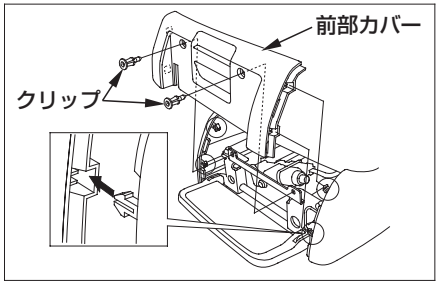
- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが外スライドの途中で動かなくなったとき

①エンジンルーム内のヒューズを外します。

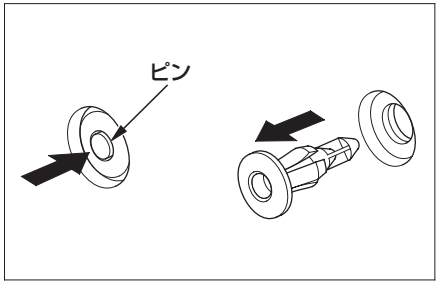
ヒューズの位置　→32ページ

②クリップ(2個)を外して、回転昇降シートの前部カバーを外します。

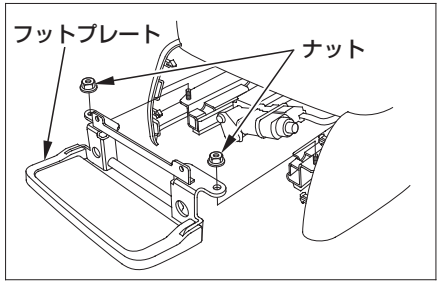


・クリップ脱着のしかた

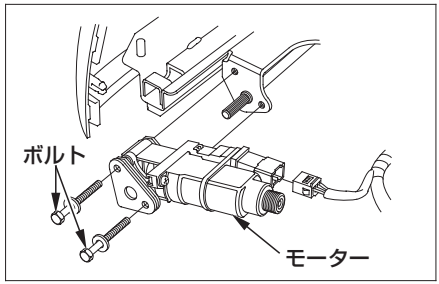
クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がするまで軽く(2 mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。



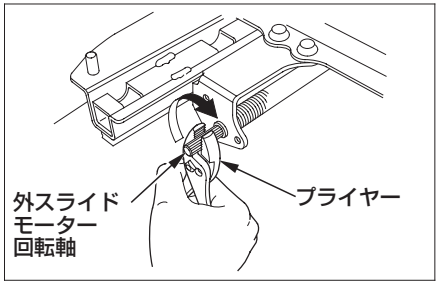
③スパナ(12mm)でナット(2個)を外して、フットプレートを外します。



④スパナ(10mm)でボルト(2本)を外して、モーターを抜き取ります。



⑤外スライドモーター回転軸が回らなくなるまでプライヤーで矢印の方向へ回し、シートを車内へスライドさせます。



⑥エンジンルーム内のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→32ページ

⑦シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

回転とスライドの操作　→36ページ

知　識

- シートが走行位置(格納位置)に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

⑧なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが回転、前後スライド途中で動かなくなったとき

Honda販売店へご連絡ください。

●回転昇降スイッチを押してもブザーが鳴らず、シートも動かないとき

Honda販売店へご連絡ください。

⚠注意

- 回転昇降スイッチを押してもシートが動かないときは、Honda販売店で点検・修理を受けてください。なお、点検・修理が完了するまでは、回転昇降シートに座らないでください。ロックが解除されたままになっているため、走行中にシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

サービスデータ

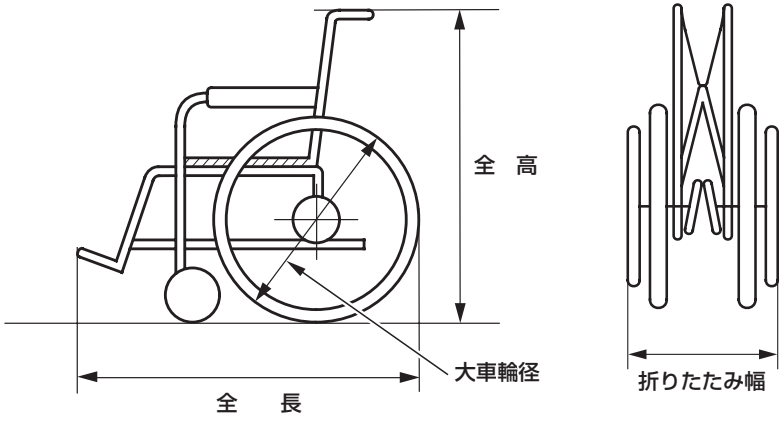
サービスデータ

項　　目	サービスデータ
回転昇降シート最大昇降能力(kg)	100
乗車定員(人)	7

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載のできない車いすがあります。

項目 ＼ タイプ	自走式、介護式
大車輪径（インチ）	24以下
全高（mm）	910以下
全長（mm）	1,110以下
折りたたみ幅（mm）	340以下
重量（kg）	20以下



HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda
販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SJM600
00X30-SJM-6000

©2004　本田技研工業株式会社